



さんぽっぽ ～景観だより～ ～第32号(27.10)～



た 田んぼの景観 ～色・色～

だんだんと涼しくなり、虫の音が秋を感じさせてくれるようになりました。田んぼの稲も黄金色に染まり、穂をたれています。これから稲刈りの季節ですね。最近ではコンバインを使う場合もふえてきていますが、市内では、まだまだかけ干しをしている田んぼも多く、秋の景観のひとつですね。

田んぼは季節によって色が変化していくので、色の変化をみてみましょう。



「田起こしをして、茶色の田んぼ」

レンゲソウと土を一緒に耕し、肥料にします。この後、水をいれ、土を砕きならしていきます。



「レンゲソウでピンク色の田んぼ」

最近は少なくなってきました。



「収穫後の田んぼとワラ」



「かけ干ししている田んぼ」

田んぼの豆知識

稲もほかの植物と同じように花を咲かせますが、その時間はわずか2時間ほどしかないそうです。



「田植えの終わった黄緑の田んぼ」

田んぼの豆知識

あいがものうほうのうやく合鴨農法・・・農薬をつかわず、子ガモを放すことで、雑草や害虫をえさとして食べ、うんちは稲の肥料になります。

「黄金色の田んぼ」



「稲刈り前の秋の田んぼと彼岸花」

稲が緑から黄色に変わり始めるころ、赤い彼岸花が咲き始めます。



「夏の緑色の田んぼ」

太陽の光をいっぱい浴びて、ぐんぐん育ちます。

田んぼの豆知識

彼岸花は毒があり、土に穴を掘る小動物から農作物を守るために畦や土手に植えたといわれています。